

# なきごえ



1983

7

大阪市  
天王寺動物園協会

ごあいさつ

塩谷 馨



6月1日付で公園局長を拝命いたしました塩谷でございます。

私どもは、都市景観の整備を通して、住みよく働きやすい町づくりを進めるため、公園事業・緑化事業に積極的に取り組んでおります。

大阪城公園・長居公園・鶴見緑地等の大公園をはじめ、市民に最も身近な児童公園等の整備促進に努めるとともに、公園はもちろん道路・河川・町かど・駅前広場など市域全域のグリーンアップを強力に進めております。

都市景観というものは、何と申しましても水と緑

\*\*\*\*\*

土井 良彦



このたびの人事異動で動物園長を拝命いたしました。多くのかたがたから激励のお言葉を頂戴し、責任の重大さを痛感いたしている次第でございます。

天王寺動物園がこの地に開設されて以来、68年の長い歴史を誇りますが、その間、営々とつちかわれてきました先人の皆様方のご努力に、お応えすることができませんかどうか、大へん不安でございますが、幸い理解ある先輩の皆さんや同僚に恵まれ、これらのかたがたを

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

なきごえ7月号もくじ

ごあいさつ ..... 2  
 “トキイロコンドル、お目見え” ..... 3  
 動物園グラフ・動物園ニュース ..... 4・5  
 キーウィと共に13年間 ..... 6・7  
 キーウィのふるさとニュージーランドを訪ねて ..... 8・9  
 キーパーズ・アイ ..... 10  
 動物園ニュース ..... 11

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

と花が大切であります、これに動物を展示したものが動物園であります。

市民にとって動物園は、レクリエーション・教育・動物の生態研究・自然保護といった効用のほか、自然に親しみ自然に接する場として貴重な存在であります。天王寺動物園は既に開園以来68年を迎え、名実共に、日本を代表する動物園として親しまれております。

今後さらに、諸外国との動物交流・音楽堂跡地の整備・美術館前からのオーバーデッキの建設など、夢のある多くの課題をかかえておりますが、その整備に全力を尽してまいります。

さらに、本年10月に開幕する大阪築城400年まつり、大阪市政100周年あるいは21世紀に向けて行われる各種イベントと連動させながら動物園の活性化を図ってまいりたいと考えております。

(大阪市長)

始め、関係各位のご指導とご鞭達のもとに精一杯頑張りたいと存じます。

ご承知のとおり、動物園はすぐれた公園施設として、また楽しい教育的施設として、市民の皆様を始め、国内外を問わず多くのかたがたから幅広く愛されております。このように動物園がもつ社会的、文化的な機能を考えましたときに、動物園は常に充実した活力のあるものでなければなりません。また、現在直面いたしております音楽堂跡地の利用、動物舎を始め諸施設の整備、並びに動物の交流など、どれをとりましても、現在の財政事情から考えますとなまやさしい問題ではありませんが、やがて迎えます動物園70周年、さらには21世紀にむけて、時宜にかなった動物園になることをめざしますとともに皆様のご協力をお願いする次第であります。

(大阪市天王寺動物園長)

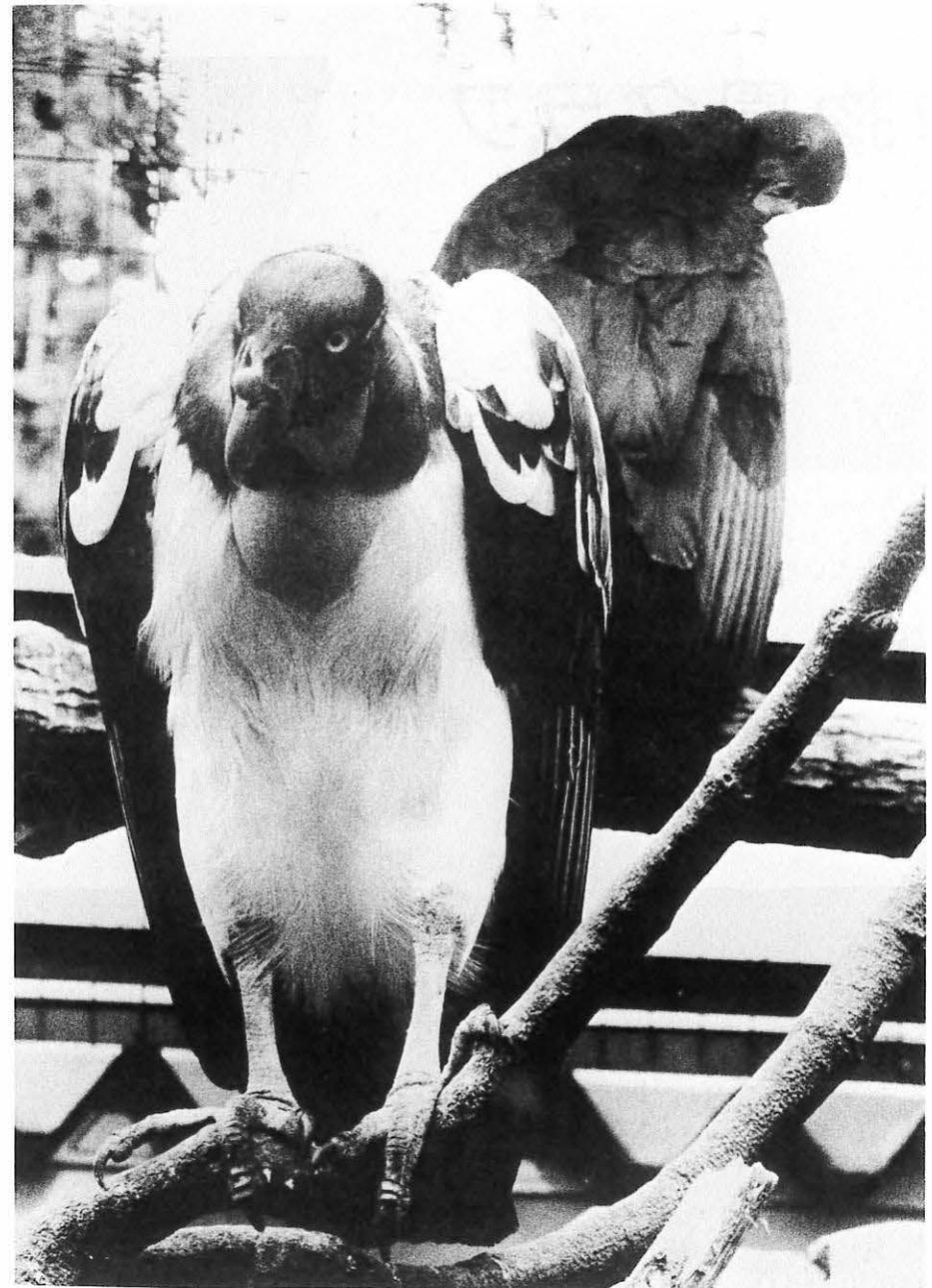
表紙の写真説明

“キーウィ”

当園のキーウィは昨夏ニュージーランドから贈られた3羽のヒナを加え4羽となりました。

この数年の内には二世誕生の期待も持てます。

(撮影：長瀬 健二郎)



“トキイロコンドル、お目見え”

6月5日、米国のサンディエゴ動物園からトキイロコンドルが2羽贈られてきました。これは一昨年タンチョウを贈ったお返しに贈られてきたもので、オスは11ヶ月令、メスは4才とまだ若いカップルです。

(撮影：農本 武志)

# 動物園グラフ

## “キーウィの人工餌”

昨年7月3日にキーウィが来園して、早や1年が過ぎました。小さかった3羽のヒナたちも、たいへん大きくなりました。さて、今回はその3羽のキーウィの餌である、オトロハンガ動物学協会のロー園長にお教えいただいた人工の餌の作り方を紹介しましょう。

(撮影：榊原安昭、土井良彦、長瀬健二郎、森本委利)



最近のキーウィのヒナたちは、大きく成長し行動も活発です。



昨年7月3日。ロー園長より、3羽のキーウィのヒナが贈呈されました。



毎月1回夜行性で行動のあまり解らないキーウィの健康管理のため触診や体重測定を行っています。

## 5・6月の動物園日記

- 5 / 21. ラマが1頭(雌)生まれました。
- 5 / 22. ハシボンミズナギドリを2羽保護しました。
- 5 / 24. ヘソヘルニアで治療しているトラの子の包帯を交換しました。
- 5 / 25. アオバズクが1卵を産卵し抱卵を地上にて始めました。  
キングペンギン5羽、イワトビペンギン5羽を冷房舎へ移動させました。
- 5 / 26. フクロウ、メジロのヒナを1羽ずつとアオバズクを保護しました。
- 5 / 27. オーストラリアヒキドリが交尾しました。

- アオバズクが2卵目を産みました。
- 5 / 28. 人工哺育中のトラの赤ちゃんのヘルニアがなおりました。
- 5 / 29. キーウィの体重測定を行ないました。  
レアが産卵しました。
- 5 / 30. オーストラリアヒキドリが産卵しました。
- 5 / 31. ミズオオトカゲが死亡しました。解剖により、腹壁に腫瘍を認めました。
- 6 / 1. 毎年恒例のメンヨウの毛刈りがおこなわれました。  
橋本一郎園長が定年退職し、新園長に土井良彦飼育課長が昇任しました。  
飼育担当の編成替が本日より実施になりま

## 〈キーウィの人工餌の作り方〉



①牛の心臓の肉を、ミミズのように細長く切ります。



②オートミールを水でとき、火にかけます。



③オートミールと細切りの心臓肉をまぜ、サラダ油、フスマ、キーウィ用に調剤したビタミンなどの栄養剤を加えます。



④よくかきまぜて、キーウィの餌は出来上り!!

- した。
- 6 / 2. カリフォルニアアシカが1頭生まれました。  
本年はじめての出産です。
- 6 / 3. カリフォルニアアシカが昨日にひきつづき1頭生まれました。
- 6 / 4. タンチョウの雌がびっこをひくので、治療をはじめました。
- 6 / 5. トキイロコンドルが一番い、アメリカのサンディエゴ動物園より贈られてきました。  
ブラックバックの子が1頭生まれました。
- 6 / 6. 水禽放養舎のアオサギが1羽巣立ちました。
- 6 / 7. ヤブツカツクリの卵をふ卵器より出して、ヒナが発生中かどうか検卵しました。

- 6 / 8. ジェンツーペンギンのヒナが産卵より39日目にはふ化しました。
- 6 / 9. ニホンジカの子が1頭生まれました。
- 6 / 10. トキイロコンドル2羽を、本日より猛禽舎にて展示をはじめました。  
5月の13日に産み落とされ抱卵が続けられていたマナヅルの卵が破卵しました。
- 6 / 12. 今年3頭目のカリフォルニアアシカの子とブタオザルの子が生まれました。
- 6 / 13. パカの子が1頭生まれました。
- 6 / 15. マレージャコウネコが4頭生まれました。
- 6 / 18. タンチョウの雌が起立不能に陥ったので入院治療することにしました。

# キーウィと共に

磯田啓子

## ◎ はじめに

1970年7月2日、万博記念にキーウィのニュージーランドが天王寺動物園に来園してから、13年目を迎えようとしています。“なきごえ”ではその間、毎年七月にキーウィ特集が組まれてきました。それで今年も私に書くように、との事ですが、私事ながら、私はさる4月30日をもって退職致しておりますので、もはやキーウィの担当者ではなく、本来ならその資格はございません。ただ、13年間の長いニュージーランドとの交流をおもひかたてのお言葉と思ひますし、これを最後として、キーウィという鳥の実に底深い姿をお伝えさせていただくのも、私の、ニュージーランドに対する義務だと感じられ、あえてペンをとらせていただきました。思い出はつきませんが、紙数に限りがありますので、私の最後に見たニュージーランドの姿を、心情的、主観的なものに的をしぼって、記してみたいと思います。それは又、ニュージーランドが12年間、待ちに待ったであろう仲間との出逢いの時でもあるからです。

## ◎ ニュージーランドとヒナ達との経過

1982年7月2日、思いがけず話が運んで、7ヶ月の3羽のキーウィの中雛がニュージーランドからやって来ました。オトロハンガキーウィハウスのロー園長が人工ふ化・育雛に成功されたヒナ達です。その間の事は今年3月の“なきごえ”誌上に発表させていただいたのですが、重複をお許し願って、少しつけ加えさせていただきたいと思ひます。

さてニュージーランドとヒナ達の様子といっても、キーウィの純然たる夜行性の故に、私との接触時間は、長くて2時間という、限られたものにならざるを得ず、従ってもし両者がおじけづいたりしていれば、観察は当然何の変哲もないものであったでしょう。最悪の場合は、全然姿を見せないという事もあるわけですが、もともと、飼育の仕事は、そのあまり変哲のない日常をくり返す事によって、或日突然のよう

に、何か吹っ切れ、まるで違った、心と心の世界が始まる、という事になるのですけれど……。

今度の場合、かつて記しましたように、ニュージーランドは9年間という長いだんまりのあと、心がほぐれ、せきを切ったように担当者である私と毎晩合唱するという楽しみを持っていました。そして一方ヒナ達は、ロー園長に心をこめて育て上げられ、人間に対してあまり警戒心を持っておらず、又人工的な環境にも馴れていました。それが大きな原因だったと思ひられますが、この両者の対応の心のヒダは実に微妙で、それを筆で記すには力が足りない事を痛感させられます。私は毎晩、キーウィ達の感情の渦の中で、不思議な時を過ごす事になりました。



新たに入園したキーウィ

初め私はニュージーランドがヒナに対して積極的に出るのではないかと考えていたのです。ところがニュージーランドは7ヶ月の間、ガラスとアミ戸でしきられたヒナの側へ、寄りつこうとはしませんでした。僅かな距離がニュージーランドの壁になっていたようです。ヒナの方は平気でした。初めからガラスにくっついて歩いていました。ニュージーランドの方は、彼が御機嫌な時に出す、ウウウという独特のおしゃべりが、3ヶ月も出なかったのをみても、やはり非常な緊張ぶりが伺えます。ところが、逆に私との合唱の方は、7月17日から以前のように、毎晩2～3回の合唱を始めたばかりでなく、前にも増して熱心になり、そして何か一番のりをあせる感じで、せき込んで歌うようになりました。彼はそれ迄と違って、あたりを走り廻り、バランの葉などで激しい音を出して威勢をつけては、間の時間を短縮し、出来る限りの声をはり上げるようになったのです。そしてその為かどうか、今までおもちゃにばかりしていたミカンを、与えろとすぐ食べるようになりました。

一方ヒナ達の方は、平均よりずっと早く、8月22日にはなき始めました。妙なシャガレ声で。しかも何と私が歌ったとたんの合唱でした。“夕やけこやけの赤とんぼ……キーイキーイ……”その時のニュージーランドの驚きよう。彼は文字通りとび上がりましたが、

すぐに猛然と声をはり上げ、ヒナを圧倒しました。負けてなるものか！ニュージーランドの迫力は凄じいばかりでした。

それからの両者の歌合戦——これには私との合唱が必ずついているのですが——ニュージーランドは無理をして5分もたたないのに歌い始め、声が途中でとぎれたり、かすれたり、裏声になったり……ヒナの方は、毎晩合唱出来るというわけではありませんが、それでもニュージーランドがやっと7年目位からボツボツなき声をきかせてくれたのに比べれば、目を見はるばかりの回数成績であり、(なきごえ3月号)これが毎晩になるのはもう時間の問題でした。歌も声もぐんぐん上手になりました。何しろニュージーランドという素晴らしい歌手がお手本にいますのですから。



左足の指を欠損しているニュージーランド

ヒナが私と合唱したあとでは、ニュージーランドはきまって私に激しいアタックをしました。とても平静ではいられない、という様子がありました。アタックはヒナ達からしていたのですが、そこに表わされる感情の意味はまるで違っているように思われました。この感情の起伏は実ははっきりとしていて、ヒナと私の合唱がなかった夜は、ニュージーランドは以前通り、実に和やかで、穏やかな態度で、ウウウと言いつつ、歩いたり、餌を食べたり、音をたててみたり、合唱したり、しているのです。ところが一たんヒナに先を越されたり、又彼と私の合唱中にヒナがわり込んできたりしようものなら……とたんにまるで体当りの激しいアタックがくり返されるのです。私のズボンを嘴でしっかりとくわえ、ウエウエウエと言いつつ足でけりつけます。私ははたしようにさせておきました。攻撃には似ていても、それは決して攻撃ではなく、その証拠に私は傷つけられた事もなく、又彼の方もやがて感情が沈み、体を撫でて貰って、抱き上げられ、少し“高い高い”をして運んで貰うと何となく納ってしまうのです。そして又ウウウと言いつつ、合唱して私を送り出すのです。

もともと、それだけではすまず、何度も何度もア

タックがくり返され、まるで身も世もないようにつきまとい離れなかった時があります。普通ヒナは1羽ずつなのですが、たまたま2羽のヒナと、ニュージーランドと私の4重唱？になった時がそれで、只の一度ではありましたが、その時の彼の感情の昂ぶりはとても鳥とは思えないものでした。7千万年前の遠い遠い昔から、キーウィ達はこれ程までの激情を胸に秘めて生き続けてきていたのか、あの夜の闇の中で……私は声をのみ思ひました。

もともとキーウィは、「今」声を出してなこうと思ひても、ないた直後であれば、あの“キーイ、キーイ”という独特の声が出ないのが普通で、その点他の鳥類とも哺乳類とも著しく異なっています。少くとも15分、普通は30分～45分、間をおきます。だからこそ、ニュージーランドが対抗心に燃えてなこうと思ひても声が続かず、尻切れとんぼになったり、裏声になったりしたのでしょうか。しかし又、そんなにしてまで、出ない声をふりしぼって、私とヒナとの合唱に自分もわって入ろうとする——そういうニュージーランドの姿はいじらしいものでした。あの尻切れとんぼの声や裏声を私はキーウィ達との合唱以上に尊いものに思ひています。



採食中のニュージーランド

## ◎ おわりに

今後、キーウィ達が優秀な人材によって、より正確にそのユニークな姿をほり起される事を心から期待せずにおられません。そして天王寺動物園のキーウィが繁殖に繁殖を重ね、世界中に逆送り出されていく日を待ち望みたいと思ひます。ニュージーランド、ロンロン、ジュン、ダイ、どうぞ仲よくがんばって下さいね。ではさようなら、天王寺動物園の動物達、私の大好きな野生の友、ほんとうに長い間、仲よくしてくれてありがとう。どうぞいつまでも元気で、幸せでありますように、かげながら祈っています。

S. 58. 6. 26  
(前天王寺動物園飼育課職員)

# キーウィのふるさとニュージーランドを訪ねて

この7月2日で、当園のキーウィはそれぞれ来園満13年（ニュージー）、満1年（ジュン、ロンロン、ダイ）を迎えました。夜行性動物舎がない現状では、入園者の方々にこの珍鳥をお見せすることができずに残念ですが、これら4羽のキーウィは夜ごとに独特のかん高い声で鳴き、めまぐるしく動いたかと思えば、巣内に隠れたりときまざまな動きを見せてくれています。このキーウィのふるさと、ニュージーランドを訪ね、その飼育の状況をつぶさに見る機会がありましたので、本場のキーウィ事情をここでご紹介しましょう。

ニュージーランドにはオークランドとウェリントンに動物園がそれぞれ一つ、オトロハンガにキーウィセンターが一つあります。キーウィを飼育しているのは上記の3カ所以外に、数カ所の観光地の動物展示施設でも飼育されています。今回はオトロハンガ・キーウィ・センターとオークランド動物園を訪ね、キーウィ舎の設備、展示方法、繁殖方法、餌などについて詳しく教えていただきました。

キーウィは3種類に分類されており、キーウィ *Apteryx australis*、コマダラキーウィ *A. oweni*、マダラキーウィ *A. haastii* の3種です。当園で飼育されているのはキーウィの中でもニュージーランド北島に生息する北島キーウィ *A. a. mantelli* です。これら3種全てのキーウィを飼育しているのはオトロハンガキーウィセンターだけです。ニュージーランド以外でキーウィを飼育している所は、米国ではワシントン、サンディエゴ、シカゴ、西ドイツ：フランクフルト、オランダ：ロッテルダムの各動物園です。日本では天王寺動物園以外ではまだ飼育されたことがありません。繁殖実績があるのは外国ではワシントンと今春成功したサンディエゴの2カ所だけです。天王寺も13年の飼育経験に加え、新たに3羽の若いキーウィ（オス2、メス1）を入手しましたので、これからの繁殖が大いに期待されるようです。

## § オトロハンガキーウィセンター

オトロハンガはオークランドから150kmほど南にくだった、北島のほぼ中央にある人口約3千人ほどの小さな町です。ここに1人のキーウィにとりつかれた人、といっちはあまりにも失礼ですが、バリー・ロー氏が住んでおられます。彼は本業の薬局経営のかたわらキーウィの繁殖に情熱を注ぎ、初めての人工ふ化の成功を始め、そのふ化に関して多くの研究業績を残しています。彼が名誉園長を務めるキーウィセンターは国からほとんど援助を受けずに、地元の有志の人達の奉仕活動で運営されるオトロハンガ動物学協会が経営するものです。ロー氏ももちろん無給で仕事に携わっていますが、本業そっちのけにしてキーウィに力を注いでおり、彼の情熱には本当に驚かされました。

昨年キーウィを大阪に自ら持って来てくださって以来、彼とは非常に親しくしていただきましたが、今回のニュージーランド滞在中の3日間は全て彼の家にござっかいになりました。彼の日課の一つに夜のキーウィ給餌がありますが、毎晩、夕食後に彼は自宅から車で5分ほどの所にあるセンターにおもむき、キーウィ用の人工食（約25羽分）を作り、まっ暗な広い放飼場の中を給餌してまわるのです。彼の努力には全く頭がさがる思いです。ロー夫人は私に、「私はキーウィ未亡人よ」と冗談を言いましたが、たしかに毎夜キーウィ観察のために家を数時間留守にするということは、家族の協力がなければとてもできないことでしょう。

ここでは展示用に4羽、繁殖用に3つがいのキーウィ、そして2羽のヒナ、コマダラキーウィが3羽、



人工飼料を作るロー氏



コマダラキーウィ

マダラキーウィが1つがい飼育されています。キーウィの1つがいには珍しい部分白化の個体でペアがつくられており、ひょっとするとそのうち全身まっ白というキーウィが誕生するかもしれません。



繁殖場の巣箱と部分白化のキーウィ

マダラキーウィとコマダラキーウィがまだ繁殖に成功しておらず、特に両種とも野生での存続が危いだけに、ロー氏もこの両種の繁殖に力を注いでおられるようでした。

夜の給餌にお伴をさせてもらった折、この2種を観察しましたが、1つがいが30~40m四方の斜面を

利用した土地に放飼されていまして。そこには背の低い灌木と草が茂るにまかせてあり、2個の木製巣箱が置かれていました。コマダラキーウィの方は餌を食べに来たものの、私の存在が気になるとみえてすぐに草むらの中に姿を消してしまいましたが、マダラキーウィの方はライトを照らしても動じる気配はなく、反対にオスは威嚇のような声をだし嘴をパチパチいわせて寄って来ました。そしてこちらが油断しようものならあの頑丈な足でけりつけてくる始末。そのうち一まわり大きなメスも現われて、2羽で仲よく餌を食べました。間近で見るとこの

探食中のマダラキーウィのペア



探食中のマダラキーウィのペア

の稀少なキーウィに夜の更けゆくのも忘れて、しばし見とれてしまいました。キーウィの繁殖には日照時間が大きなウェートを占めており、そのためには屋外で飼育することが大切な条件の一つだそうです。サンディエゴ動物園で今春繁殖に成功したのも、屋内展示のものとは別に屋外で飼育したからだとのことです。

ここではキーウィ以外にニュージーランド特産の鳥類も数多く見せていただきました。オオムの仲間のカカヤケア、ニュージーランドバト、ウエッカ、ブケコなどの初めて目にする珍鳥に我を忘れてしまいました。特に興味深かったのは、多くのニュージーランド人がキーウィの実物を見たことがないようで、ウエッカをキーウィと信じている人がかなりいるそうです。

## § オークランド動物園

オークランド博物館で鳥類の標本を数多く見た後、ロー氏にオークランド動物園へつれていってもらいました。まずウッド園長にお会いして、いろいろなお話を伺いました。オトロハンガから昨年3羽のヒナが大阪に贈られたことは彼もよく知っておられ、大阪のキーウィの様子などもたずねられました。13年前に万博を記念して贈られた時のメスのキーウィはここで飼育されていたものなそうと、当園とは因縁浅からぬわけですね。

ウッド園長に案内されて園内を見学しましたが、この動物園は火山の溶岩がもりあがった場所を利用して1922年に開設されており、すぐ側に海が迫っており景色はすばらしいものです。

キーウィ舎は完全な夜行性動物舎で、観客通路はまっ暗、しかしキーウィの展示場所はわずかな明りにもかかわらず2羽のキーウィが動きまわっているのがよく見えました。飼育詰所でシブリー飼育主任

とキーウィ担当のベネット係員を紹介していただきました。ベネット係員の案内でまずキーウィの繁殖場へつれて行ってもらいました。野菜や果物を促成栽培するようなカマボコ型のビニールハウスのようなものが3棟あり、ビニールのかわりに金網を張っているところがビニールハウスとちがう点で、中には灌木と草が茂っています。これがキーウィの繁殖施設？と一瞬あっけにとられました。よく見れば1棟が3つに区切られており、各区画は3×5m、



キーウィ繁殖場と番犬がわりのヤギ

高さ2m位の木製の巣箱が2つずつ置いてあります。中に入っていくと一つ一つ



巣箱内のキーウィ

を開けて中のキーウィを見せてくれました。1つの巣箱に2羽入っているところもあれば、1羽ずつのところありと様々ですが、皆、就寝中を起こされてかなり機嫌が悪そうでした。現在8つがいが収容されており、毎年5~8羽ほど繁殖に成功しているとのこと。このように展示用と繁殖用とはっきりとキーウィを区分して飼育しているのを見ると、当園の4羽も展示用、繁殖用と分けて飼育せねばならないのではと考えさせられました。詰所に戻りシブリー飼育主任に園内を車で案内してもらいました。丁度ミード獣医師は出張で不在でしたが、動物病院もなく見せてもらいました。

キーウィ舎の管理室にはピーナッツが置いてありましたが、結構これを好むそうです。日本に戻ったら早速与えてみようかな……。

5時に園長室に戻るとたくさんのポスターやガイドブックなどが用意されていました。ウッド園長にお礼のべ、ロー氏の車で空港へ。本当に短いニュージーランド滞在でしたが、キーウィについて多くのことを学ばせていただきました。

(飼育課：宮下 実)

§ 三者同盟

先月の6月1日、飼育係の宿命ともいうべき、担当動物の変更が行われ、私も永年住みなれた小獣舎と猛禽舎を追われ、いや心を残しながらも、ラクダ・カンガルー舎に配置替となりました。担当動物が替って、まず新しい動物たちに受け入れられる様、前任者に色々アドバイスを受け、いざ出陣！幸いラクダのムサシ・サクラ・ミル、ラマの一家、カンガルーたちなどには、気に入られたのですが、しかし、ここに伏兵がいたのです。それは、前任者が、このラクダ舎に住む権利を与えた、アヒルとガチョウ、そしてシチメンチョウだったのです。前任者から、アヒルはくせが悪いからと注意を受けていたのですが、私がラクダ舎の運動場に入ると、必ず、私めがけて、短い足をフル回転し、攻撃してくるのです。あまりのしつこさに、アヒルを捕えてカゴに入れようとする、なんと、今まで知らん顔していたガチョウが、アヒル危し！と加勢にやってきたのです。ガチョウを追っばらおうとすると、今度は、



シチメンチョウが、ガチョウ危し！と応援しにくる始末。3対1では勝目がないとアヒルを自由の身にしてやると、それで休戦となる訳ですが、普段は、特に仲が良いといえないこの三者、いざ鎌倉となると助けあうとは……三者同盟でも結んでいるのでしょうか？

(飼育課：農本 武志)



§ 実らぬ恋の物語



北園の一角にある放養舎には、ヨーロッパコウノトリ、タンチョウ、そしてガンやカモなどの水鳥た

(飼育課：農本 武志)

§ メンヨウの衣替え

6月1日の衣替えにちなみ、メンヨウの毛刈りを行いました。約1時間ほどで、4頭のメンヨウの毛刈りは終了し、夏が近づき暑そうだったメンヨウたちも、毛を刈



ったあとは涼げでした。刈り取った毛は4頭で8.6kgありました。

§ トキイロコンドル来園!!

アメリカ合衆国のカリフォルニア州にあるサンディエゴ動物園より、トキイロコンドル一番が6月5日来園しました。

今回、サンディエゴ動物園より贈られたのは、一昨年の11月にサンディエゴで行われた日米市長会議を記念して、当園よりタンチョウ一番をサンディエゴ動物園へ贈った返礼として贈られたものです。

検査終了後、6月10日より猛禽舎で一般公開。当園では、3年ぶりのお目見えに入園者の注目を集めています。

来園した番のうちオスは昨年7月24日にサンディエゴ動物園で人工ふ化・育すうされたもので、メスは、1978年にメンフィス動物園でふ化したものです。オスはまだ11ヶ月令で、黒かっ色のヒナの羽毛をしています。人工育すうで育っていたため、人に非常に慣れていまして、繁殖が可能になる数年後が楽しみです。

§ 出産ラッシュは続く

6月に入っても、まだ出産ラッシュが続いています。毎年6月になると生まれるカリフォルニアアシカも、6月2日、3日、12日、22日と4頭生まれました。

\*\*\*\*\*

現在の飼育動物数

(1983年5月31日現在)

哺乳類	8目	99種	376点
鳥類	20目	200種	697点
爬虫類	3目	39種	92点
計	31目	338種	1,165点

4頭もの子供が生まれたのは近年にないことです。残念ながら3日に生まれた子供は死にましたが残る3頭は順調に成育しています。



カモシカ園のブラックバックも6月5日、8日と2頭生ま

れました。しかし、8日に出産した母親が19日死亡したため、子供を人工哺育に切り替えることになりました。ところが、不思議なことに5日に出産したメスが、自分の子供の面倒をみずに、この子の面倒をみるようになったので、8日生まれの子供の衰弱が目立ってきたため6月20日に捕獲し人工哺育に切り替えました。



サル類では、ブタオザルが6月12日に出産しました。母親は昨年2月に来園したもので、昨年10月にも出産したのですが初産のためうまく育てませんでした。今回は順調に育てています。また今年3頭目のニホンザルの赤ちゃんも6月22日に生まれています。

小獣舎では、バカとマレージャコウネコが生まれています。バカは6月13日に出産しましたが、母親は1980年以来4産目で、子供はすくすく育っています。マレージャコウネコは、6月15日に出産したのですが、親が子供をかくすため頭数は確認できませんが、4頭以上は出産したようです。

南園のシカ舎では、今年2月に来園したダマシカが6月20日に出産しました。ニホンジカも6月9日に1頭生まれています。母親は一昨年当園で生まれたもので初産です。互いにかわいい姿は、入園者の人気を集めています。

\* 休園日のお知らせ \*

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。9月までの休園日は下記の通りです。  
7月18日(月)、8月15日(月)、9月19日(月)。  
開園時間は午前9時30分～午後5時で、午後4時に切符売り止めになります。

# すてき満喫

## 近鉄クレジットカード



- 全国の近鉄百貨店グループ・都ホテチェーンなどでワイドにお使いいただけます。
- カードをご提示いただだけで30万円までのお買物をお楽しみいただけます。
- 繰り延べ払い(リボルビング方式)・一回払い・ボーナス一括払いの3つのお支払い方法がございます。
- 入会資格は20歳以上で2年以上お勤め、または自営の方です。

**近鉄百貨店**

お申込み・お問合せは各店クレジットセンター  
アベノ店・上本町店・東大阪店・奈良店・西京都店・東京店

近鉄百貨店グループ

四日市近鉄・京都近鉄・岐阜近鉄・枚方近鉄・和歌山近鉄・近鉄松下(徳山)・別府近鉄・三交百貨店(松阪・伊勢)・近鉄東海ストア

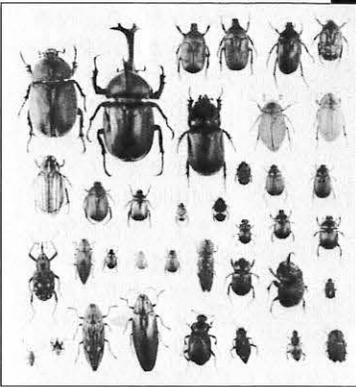
ひかりのくに

監修・阪口浩平  
指導・宮武頼夫

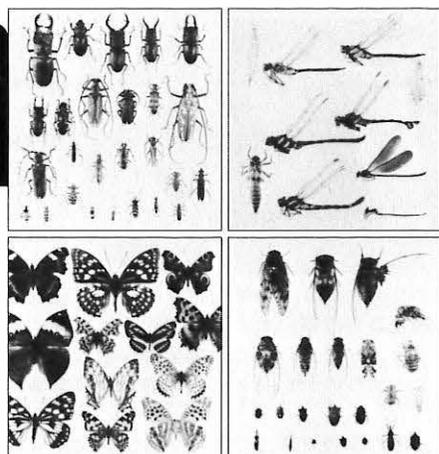
オールカラー

# むし

くらしとかいかた

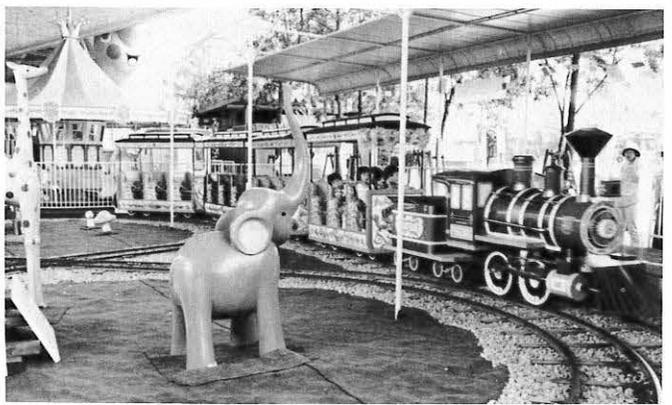


今まで、気にもとめなかった自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。きっとすばらしいことに出会えるはずだ。



B5変形 84ページ 580円  
ひかりのくに株式会社  
〒543大阪市天王寺区上本町3-2

## たのしいのりものが待っています。



1人回  
100円  
(1才まで無料)

団体割引  
(30人以上)  
……1割引

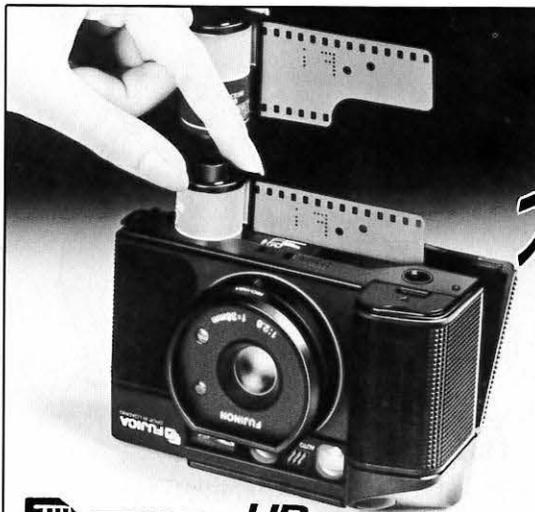
◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

## 天王寺動物園の機関紙

月刊 **なきごえ**

ご購読をお奨めします。  
年間購読料 1,100円 (含、郵送料)

お申し込みは、**大阪市天王寺動物園協会**へ  
TEL 06-771-0201



# フィルムポン!

世界で初めて「ドロップイン機構」を搭載!  
フィルム装てんが新しくなった—フジカ  
オートエース&オートメイト新登場!

フジカラーHR

—FUJICA—  
オートエース  
DL-100 DATE  
標準価格49,800円

## かろの大林

桜橋本店 ☎341-8091  
三番街店 ☎372-5031

## ◎ 動物のことなら あらゆることにお役に立ちます。

- 飼育指導 (ペットよろ)
- 飼育指導 (ペットよろず相談)
- ふれあい子供動物園
- ふれあい動物写真会
- 撮影用動物モデルリース
- 動物(ペット)、教材用生物販売、リース、交換、引取り、預り
- 各種飼料、器具販売、配達

自然から学ぶおもいやり

株式会社 **アニマ**



(いきもの110ばん)

☎ 06-863-1025 (代表)

〒561 豊中市利倉2丁目22-2

全国の愛犬家の共感を呼ぶ  
無比の愛犬歌集

# 歌集 犬の歌

動物文学会主宰  
平岩米吉著

(天金美装・箱入)  
B6判・270頁  
2500円・千不要  
(直接申込を)

著者が、約40年の間に、共に暮した70余頭の犬の生と死を歌った419首を取録。同時に、その誕生より老齢に至る写真47図を取め、犬の一生の生態写真集でもある。

動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2  
電話(03)717-1659・振替東京5-9800

日本図書館協会選定  
全国学校図書館選定

待望の日本狼の正史ついに完成!

# 狼

その生態と歴史

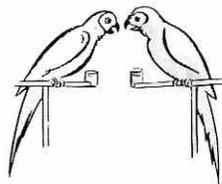
犬科生態研究所長  
平岩米吉著

A5判・320頁・  
口絵挿絵等140図  
定価2800円・千300円

## 主な目次

- |            |           |
|------------|-----------|
| 序 狼への幻想と現実 | 5 狼の伝説    |
| 1 犬科の分類と解説 | 6 日本狼の特徴  |
| 2 犬と狼の関係   | 7 日本狼の絶滅  |
| 3 日本狼の歴史   | 終 狼を飼った人々 |
| 4 狼狩の記録    |           |

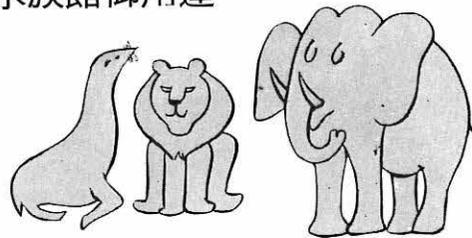
発売 (株)池田書店 東京都新宿区弁天町43番地  
振替・東京4-165425



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

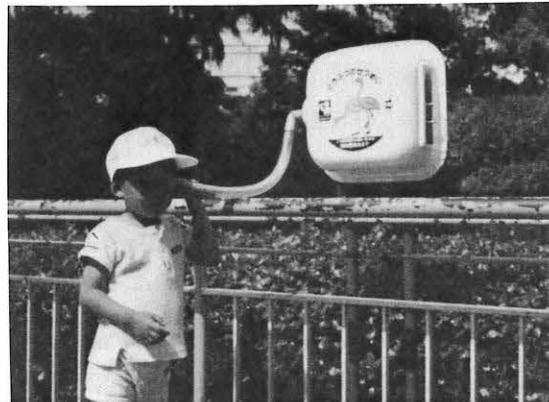
- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517  
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494

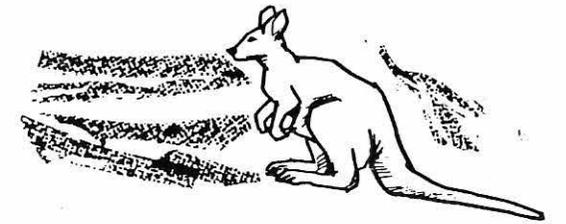
たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数カ所にあります

1回 20円

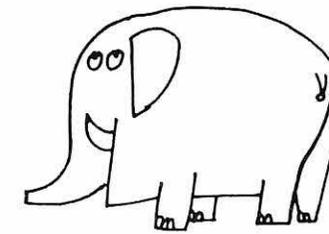
……………ぼっちゃん  
……おじょうちゃん  
どうぶつえんへ……………  
いらっしやいませ……  
ごきゅうけいは……………  
おしょくじは……………



動物園内北園  
**中央売店**

☎(06) 771-0973

## 天王寺動物園内



## 南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話(06) 771-7110番

園内でのお写真は…

動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して  
おりますので説明  
に伺いました際は、  
よろしくお願ひ致し  
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます

国際航空写真株式会社

TEL 06-856-7444

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。



果肉とソフトヨーグルト  
の名コンビ



# 雪印ヨーグル

●ブルーベリー・キウイフルーツ・ストロベリー・オレンジ・カクテル

なきごえ 昭和58年7月15日発行(毎月1回15日発行)

第19巻 第7号 (通巻215号)

編集 / 大阪市天王寺動物園

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

電話 大阪 (06) 771-0201

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

振替口座 大阪 37823

1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員 (土井 良彦・伊東 重朗・小出 雅三・樽本 勲・中川 哲男・前田 豊彦)  
(宮下 実・長瀬健二郎・榊原 安昭・森本 委利・大野 尊信・葭谷 文彦)  
(農本 武志・野口 秀高・仲谷 登・柴田 総・兼坂 雅浩・堀 弘)